

製本のススメ

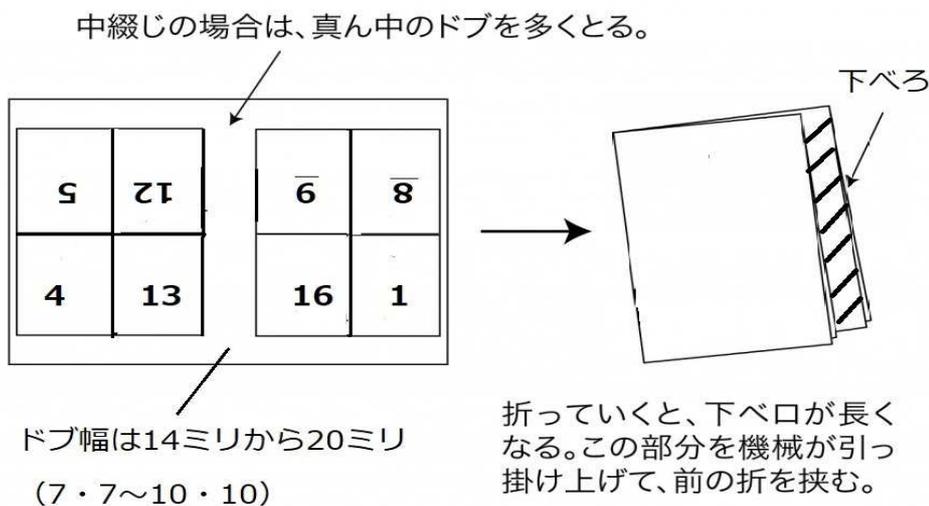
Vol. 208

街はすっかり冬支度です。まもなくお正月 景気回復とは決して言えませんが 人の動きは出始めたようです。一年間のご愛顧ありがとうございました。来る年は 今年よりも良い年でありますよう 心よりお祈り申し上げます。

今回は**余白説明(中綴じ編)第一弾の3**の話し

中綴じ編の最終回です。これで基本的な中綴じのページ立ては終了です。今回も左あき冊子を例題に余白の取り方をお話いたします。

左開きなので天側が袋になります。それを踏まえて下の図を見てください



16 頁(八つ折)ではセンターを広く開ける事で**袋になっている部分(ラップ)**を機械で掴むことができます。すると機械トラブルが少なく また**常に天袋側を基準に折丁を重ねる事が出来る**為 罫線等の見開き絵柄を合わせる事が出来ます。逆にセンターのドブ幅が6ミリ(3・3)程度の場合ではラップを刷り本の左右にある余白で作らねばならず 上ベロでの作業となり **折丁の罫下(地側)で揃える事になります**。当然ですが線や絵は合いませんので**仕上がりの良さは絶対に望めません**。右開きの場合には**地袋となりますがセンターを広く開ける事は変わりません**。



Teabreak

既にお知らせさせて頂いておりますが、来年 1 月請求分より最低基本価格と包装手数料の見直しをさせていただきます。皆様にはご迷惑をおかけしますが 社内加工賃に関しては 3 月請求分まで据え置きとし 4 月請求分より社内加工賃についても見直しをせざるを得ず ご理解を賜りたく存じます。

弊社 HP は www.isekiseihon.com

facebook は 「井関製本の日々」

by (株) 井関製本